

<<我が家の安否確認方法は大丈夫？>>

大地震が起きた時、まず頭に浮ぶのは…

【大切な家族は無事だろうか？】 【心配している家族に安否を伝えたい！】
ですよね。

お互いの安否を確認できると、心理的なダメージを軽減できます。

8月30日から9月5日は防災週間です。お盆は遠くの家族・親戚とも連絡を取るチャンスです。

この機会に災害時の家族との連絡方法を事前に決めておくとともに、
利用方法を確認しておきましょう！



災害発生時は、被災地への電話が集中し、通信回線が大変混雑し、一時的な大量の通話を扱うことができなくなるため、つながりにくい状態になります。

こうした通信の混雑の影響を避けながら、家族や知人との間での安否の確認や避難場所の連絡等をスムーズに行うため、以下のようなサービスが運営されています。

① 電話【171】から安否情報を録音・確認できます

災害用伝言ダイヤルは、災害発生後にNTT東日本・NTT西日本がシステムを稼働し、音声による安否確認や集合場所の連絡などに利用することができます。

② 携帯キャリア各社【web171】でも安否情報を登録・確認できます

音声⇔テキスト（文書）変換可能とするなど、携帯キャリア各社は①の災害用伝言ダイヤルとも連携しています。

・毎月1・15日や防災週間（8/30～9/5）などの体験利用日に一度でも体験利用をしてみたいはいかがですか？

とても便利なシステムですが、いざという時に確実に利用出来る様に自治会の防災訓練（10月13日）及び黒須田小地域防災拠点防災訓練（11月17日）と同様、家族での訓練を繰り返しましょう！

・スマートフォン等の充電切れにより連絡が一方通行になる可能性もあります。併せて備えておきましょう。

・音声通話以外の連絡手段（メール・LINE等）は、災害時にも活用できる可能性があります。家族のグループライン作成・遠方の親戚（中継してもらう）とのメールのやり取りを確認しておくなどの準備もお勧めします。

災害はいつ起こるかわかりません。

いざという時をイメージしながら自治会の安否確認訓練（10月13日）と黒須田小地域防災拠点防災訓練（11月17日）に参加して、地域の住民と交流を深め、助け合う意識を高めていきましょう。